

公益信託世田谷まちづくりファンド

第26回助成事業 審査講評

はじめの一步部門

<1-1 TOKYO COTTON VILLAGE>

- ・「はじめの一步部門」の助成決定、おめでとうございます。綿の栽培に始まり、糸を紡いで機を織り、布になるまでにはこんなにも手がかかる、ものを生み出すとは何かを考えさせられる取り組みだと思いました。ワークショップに参加して、和綿はもちろん、身のまわりの“もの”や“もの”の扱いについて、あらためて目を向けたという方は多いのではないのでしょうか。世田谷で、活動の輪をさらに広げてほしいと思います。当ファンドでは、グループどうしが活動に役立つ情報やノウハウを交換しあう機会を大切にしています。貴グループはファンドに初の応募ですが、すでに10年活動し、参加者が2500人超という実績もあり、その経験やノウハウは他グループにとって学ぶところが多々あると思います。様々な活動歴を持つグループが集うのもファンドの魅力です。ぜひ他グループとの交流の機会をもち、活動の仲間をみつけてほしいと思います。今後の活動に期待しています。
- ・ Cottonの自給率が日本は0%だという事を初めて知りました。そういった点からも貴団体の活動は有意義だと思います。まちづくり部門に繋がる様な今後のご活躍を期待しております。
- ・ Cottonの自給率が0%であるということを私は知りませんでした。私を含めてこうした問題を意識していない人は少なくないと思います。日本でCottonを栽培し、機を織り実生活で使用する事を、知り、体験し、暮らしの中に取り込んでいくライフスタイルの醸成は、まちづくりを担う人をつくる活動とも言えます。多くの人に広がる活動になっていくことを期待しています。また、このようなライフスタイルのデザインについては三軒茶屋の生活工房が専門に進めているので、接点ができるかと広がるとは思いません。

< 1-2 人形劇グループ「チチン・プイ」 >

- ・人形劇というのは、とてもコンパクトでありながら、映画にも匹敵する多種多様な視点や才能が必要な大いなるエンターテインメントであることに気づかされました。また子どもたちが取り組む余白もあり、まさにダイバーシティですね。これからの活動の成果を楽しみにしています！
- ・人形劇というと懐かしい感じがしましたが、アニメやゲーム漬けの子どもたちにはかえって新鮮かもしれません。地域の方々と子どもたちの楽しい交流に期待しています。
- ・現代では人形劇はテレビで見るものになりつつありますが、生で子どもたちの表情を見ながら人形劇を上演する貴会の取組みは素晴らしいと思います。さらに有意義なのはその制作から上演までを地域の人たちが集って担い、地域のつながりも深めている点です。しかし、現在のメンバー数では活動の持続も難しいと考えられますので、まちづくりファンドのネットワークなども利用して仲間づくりを頑張って、人形劇を「見る楽しみ」と「創る楽しみ」を地域に広げてください。

< 1-3 記憶をつなぎ人をつなぎ世田谷区庁舎をのぞむ会 >

- ・世田谷区庁舎という、区民の日常生活を支える機能的な建物をまちづくりのシンボルとしてとらえ、記憶と人をつないでいくという試みはとても面白いと思います。建物の良し悪しではなく、区庁舎の歴史を通し、このまちで私たちがどう暮らし、つながっていくのか、多様な人と未来を描ける場となることを期待しています。
- ・まずは活動の一步を仲間と踏み出されたことが大きな成果です。こまめに地域のネットワークを作り、来年以降の活動の足がかりを広げてください。期待しています。
- ・学習や記録したものを広く周知し、より良い庁舎、区民会館に繋がるよう、また、検討が進む新庁舎計画に区民の関心がさらに高まることを期待したい。

< 1-4 みんなのコミュニティさくら >

- ・家から歩いて行けて、顔見知りにも会える。買い物ついでについて寄りたくなるような居場所の重要性を実感し、そこで得た思いから活動を立ち上げたことにとっても共感しました。日常を穏やかに送っているように見える住宅街だからこそ、人が出会い顔の見える関係をつくるための積極的な仕掛けが欠かせない時代なのだと思います。

活動では、まず人に来てもらうためのきっかけづくりが重要になると思いますが、お茶や食事会に加えて、日用品の交換、包丁研ぎ、整理整頓のコツ、医療や介護のささやかな講座など、ちょっとお得な時間を設けるのもいい方法だと思います（すでになさっているかもしれません）。ボランティア講師を探す方法は世田谷ボランティア協会が相談にのってくれるのではないのでしょうか。

また息の長い活動にしていくためにも、来訪者をお客さんにせず、一緒に活動する仲間として受けとめる気持ちを大切にしてください。今後の活動に期待しています。

- ・人との繋がりが弱くなっている現代で地域コミュニティを強固にする活動は有意義な活動だと思います。活動が継続的に出来る様に今後のご活躍を期待しております。
- ・桜新町は、桜が美しい住宅地が地域風景資産やせたがや百景などで世田谷を代表する風景としてうたわれている良好な環境をもつまちです。一方戸建住宅を中心とした敷地規模の大きな住宅地は、まちが造成された時に比べ高齢化などのコミュニティの課題を有していると思います。コミュニティカフェの運営を通して、コミュニティの再生を支援する視点と、地域のすばらしい風景の資源をまち全体で再確認して享受できる活動となったらとても素晴らしいと感じました。

< 1-5 平井さんちの縁側チーム >

- ・縁台を作るという、とてもコンパクトな取り組みですが、共感度も高く、また老若男女、様々な方々との関係性を創る上で、とても有効な方法だと感心しました。この小さな一歩から、大きなコミュニティに育っていくことを期待しています。
- ・世田谷トラストまちづくり大学の修了生のみなさんの発案で始められた点、まちづくりの入り口として縁側を選ばれた点が素敵です。この縁側

を起点に次の活動につながるといいですね。

- ・日本家屋の縁側はいろいろな機能を持っていました。子どもたちの遊び場、お母さんの仕事場、お父さんのお昼寝の場所。そして近所の人ややって来ると応接間となり、地域交流の場となりました。このプロジェクトでぜひ、そんな縁側を復活させてください。ワークショップにはできるだけ多くの近隣の方を集めて平井さんちの縁側を「みんなの縁側」に育ててください。